

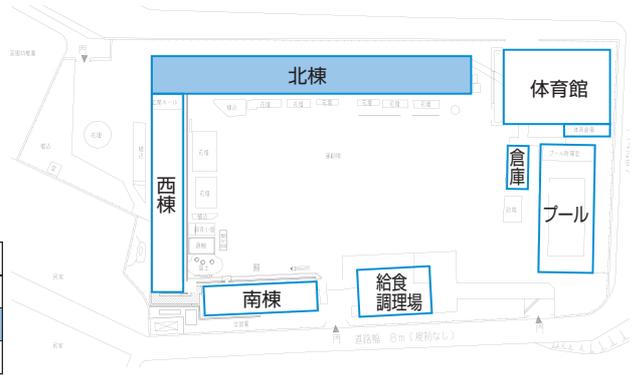
## （1）堺市立宮園小学校概要

- 所在地 : 堺市中区宮園町 4 番 1 号  
 敷地面積 : 15,043 m<sup>2</sup>  
 校舎保有面積 : 5,888 m<sup>2</sup>  
 構造・規模 : 鉄筋コンクリート造 3 階建  
 児童数 : 145 人 (普通 6 学級 / 特別支援 3 学級)  
 教職員数 : 19 人  
 既存校舎面積・建築年

既存棟名	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年
西棟	1,897	S42, 44, 49
北棟	2,897	S42, 43, 47, 48, 51
南棟	1,094	S49

※本事業対象範囲は、北棟のみとする。

- ・耐震改修工事は、H25 年度に完了済み。



■ 校舎配置図

## （2）懇話会・ワークショップ

- ・学識経験者、宮園地域代表者、学校代表者等から広く意見を聴取することを目的として、懇話会を開催した。

学識経験者	横山 俊祐	大阪市立大学教授	地域住民	井上 勇	八田荘団地自治会長
	陶器 浩一	滋賀県立大学教授	教職員	米川 潤	宮園小学校学校長
	小林 知広	大阪市立大学講師			

■ 懇話会構成員名簿

### 【第1回懇話会（平成26年8月22日）】

- ・老朽化対策先導事業の概要について説明
- ・堺市立学校園施設及び宮園小学校の現状
- ・課題および今後の懇話会の進め方について

### 【第2回懇話会（平成26年10月27日）】

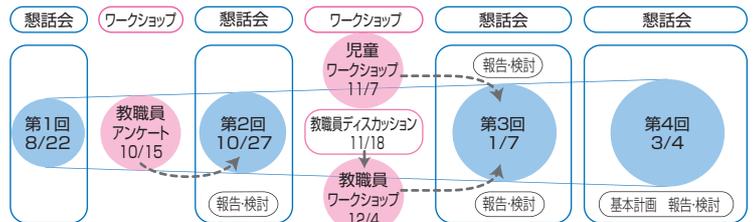
- ・教職員アンケートの結果報告
- ・老朽化対策の改修の考え方に対する意見交換

### 【第3回懇話会（平成27年1月7日）】

- ・児童・教職員ワークショップ等の結果報告
- ・老朽化対策の改修の考え方に対する意見交換

### 【第4回懇話会（平成27年3月4日）】

- ・老朽化対策先導事業基本計画について報告



■ フローチャート



■ 第2回懇話会実施風景



■ 第3回懇話会実施風景

### 【教職員アンケート（平成26年10月20日）】

施設改善に向けて、教職員に対してアンケートを配布し、現状の問題点・今後の教育環境のあり方などについて様々な質問を行った。

- 児童の学習・遊びの環境、トイレなどに対する意見があった。

### 【児童に対するワークショップ（平成26年11月7日）】

児童を対象に、宮園小学校の「ここが好き！ここが好きじゃない！」というワークショップを行い、2色の付箋を使用して意見を書き出した。

- 好きという意見は図書室が最も多く、好きじゃないという意見はトイレや共用部に多かった。

### 【教職員のグループディスカッション（平成26年11月18日）】

教職員アンケート結果を基に作成した改修プラン案について、教職員が3班に分かれてグループディスカッションを行った。

- 教室内の収納、共用部の設備更新、管理諸室の繋がり等の具体的な意見が示された。

### 【教職員に対するワークショップ（平成26年12月4日）】

教職員が2班に分かれ、改修プラン案を基に付箋を利用して意見を書き出した。

- メディアセンター、普通教室と学習室の繋がり、利用方法等について意見があった。



■ 児童へのWS実施風景



■ 教職員WS実施風景



■ 教職員WS実施風景

### （3）既存校舎劣化状況調査（北棟）

#### 【外観・内観調査】

【内容】目視による、屋上防水・外壁面・床面等のひび割れ箇所・塗装のはがれ箇所・配線配管の劣化状況等の確認

- ・外壁：塗装の劣化が目立ち、サッシ際の部分にはひび割れが認められた。
- ・内部：内壁面仕上モルタルのひび割れ、床仕上げのひび割れ箇所も確認。
- ・屋上：定期的に屋上防水改修を行っており、著しい劣化は見受けられない。



■ 北東側外壁：塗装はく離状況

#### 【構造調査】

【内容】躯体の現況を把握するための調査を行いコンクリート圧縮強度、中性化深さ等について確認

- ・コンクリート圧縮強度：圧縮強度試験を行い、健全性が認められた。
- ・中性化深さ：中性化の進行状況を確認し、鉄筋の腐食はほぼ認められなかった。



■ 床仕上げひび割れ状況

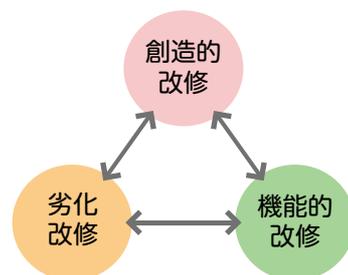
### （4）基本計画

堺市として、長寿命化対策における基本的な考え方として3つの柱を設ける。

**創造的改修** 新たな学習空間の創出や学習環境の向上に繋げる改修

**劣化改修** 劣化した躯体や設備を改善するための改修

**機能的改修** これから求められる機能を充足するための改修

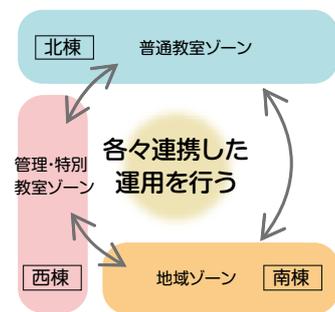


■ 長寿命化改修における3つの柱

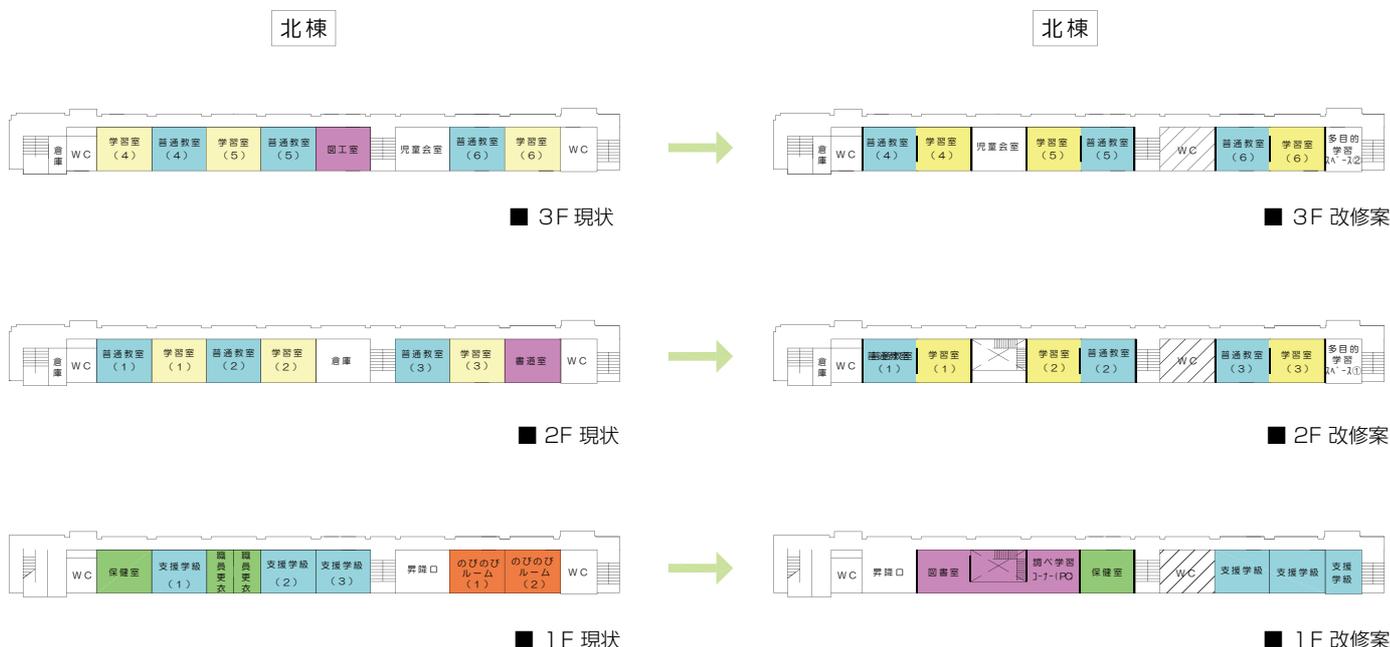
- ・3つの改修を複合的に組み合わせる事により、学習空間や学習環境の向上に繋げていき、堺市独自の長寿命化改修を行う。
- ・改修を行うにあたっての原則として、現状の耐震性能を確保することを目標とする。

#### 【改修案】 — 新たな学びや地域活動を創出する創造的改修 —

- ・学校施設老朽化対策先導事業として、北棟1F～3Fの改修プランを提案する。
- ・将来を見据えて①普通教室ゾーン（北棟）②管理・特別教室ゾーン（西棟）③地域ゾーン（南棟）とゾーニングを行う。  
ゾーン毎に分けられた機能を効果的に活用するとともに、各々が連携した運用を行えるよう、諸室の繋がりを考えて整備を行う。



■ ゾーニングイメージ

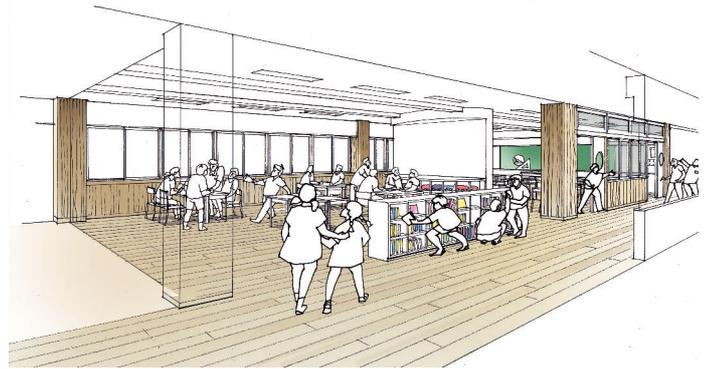
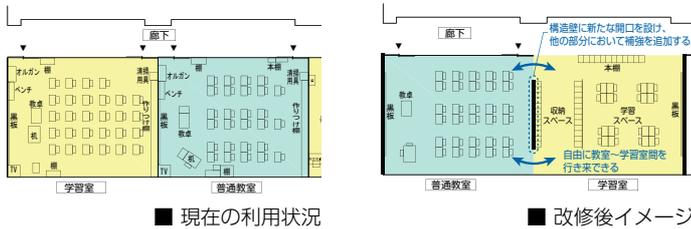


## （４）基本計画

### 【創造的改修】

#### ①普通教室・学習室

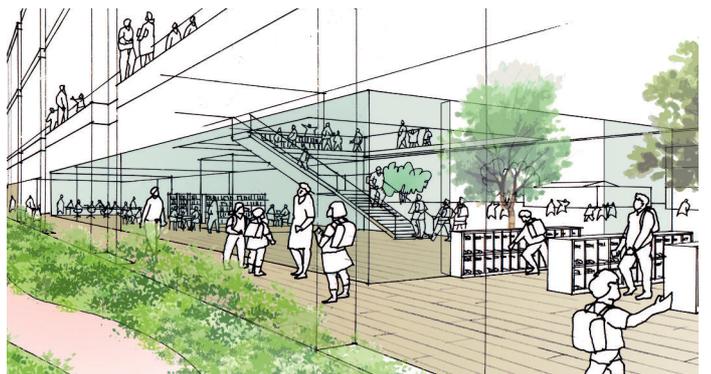
- 普通教室と学習室間の間仕切壁に一部開口を設け、教室間を行き来できるようにして、多様な学習内容や学習形態に有効活用できる**新たな学習空間**を創出する。



#### ②メディアセンター

（図書室+PCコーナー）

- 児童が気軽に立ち寄れる昇降口横に、図書室とPCコーナーを集約した「メディアセンター」を提案する。調べ学習における図書とPCの連携を可能にし、**今後の学びの基礎**となる空間を創出する。



### 【劣化改修】

#### ①躯体の老朽化対策

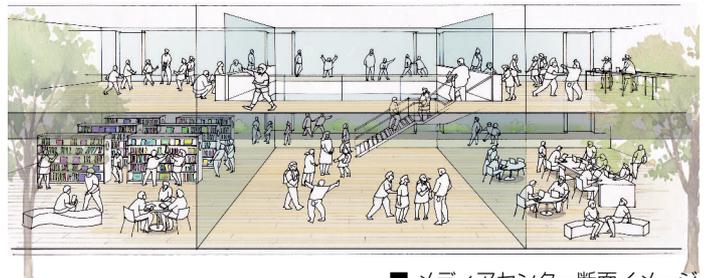
- 躯体ひび割れの補修を行い、躯体の劣化対策を行う。
- 中性化の進行を抑制するために、再度仕上げ（表面被覆）を行う。

#### ②外壁・屋上の老朽化対策

- 予防保全として、定期的な外壁の塗り直しを行い、美観の回復と躯体の保護を行う。
- 屋上防水の改修を行うことにより、雨漏り等から躯体の保護を行う。

#### ③設備の老朽化対策

- 配線配管ルート of 整理を行い、維持管理の簡素化を行う。
- 照明設備について、Hf 蛍光灯やLED照明の採用を行う。



### 【機能的改修】

#### ①高断熱化

- 躯体について、外壁：内断熱工法、屋上：外断熱工法を採用し、改修を行う。
- ガラスについて、原則複層ガラスを採用するが、維持管理や更新コストの検討を行い、方針決定を行う。

#### ②サッシ改修

- 経年劣化している箇所においては、サッシ更新を行う。

#### ③トイレ改修

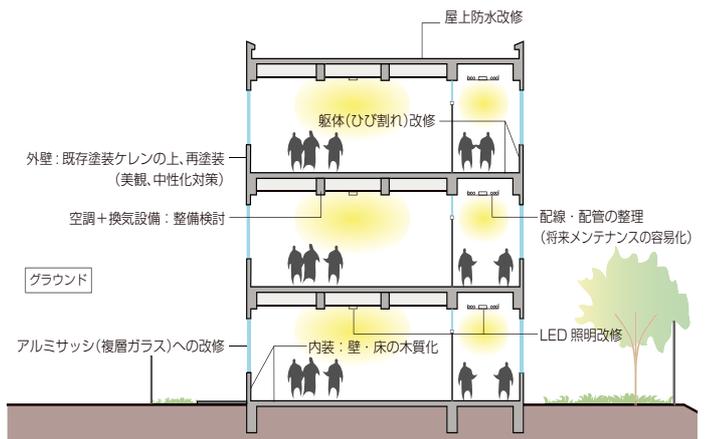
- 既存トイレを移設し、スパンの拡大によるトイレプランを提案し、憩いのトイレを計画する。
- 床は乾式清掃仕様とし、衛生的な環境を実現する。

#### ④空調・換気設備

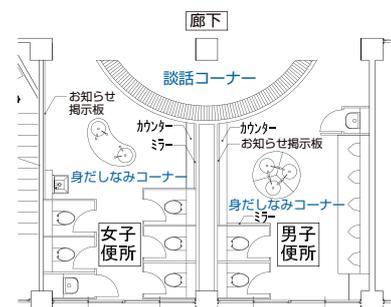
- 空調機を設置する際には、ガスヒートポンプ方式を採用する。同時に換気設備も整備を行い、CO2濃度センサー機能付きの換気設備を採用する。

#### ⑤バリアフリー化・ユニバーサルデザイン

- 移動経路の円滑化や段差解消、多目的トイレの整備を行う。



■ 長寿命化改修項目



■ トイレ改修イメージ アイランドタイプ